

入間川地区中学校統廃合説明会報告

【対象：入間川東小・奥富小学校保護者】

- 1 開催日時
平成 24 年 10 月 13 日（土） 14 時～15 時 30 分
- 2 開催場所
狭山市役所 6 階 602・603 会議室
- 3 参加人数
約 70 人
- 4 市職員（計 4 名）
生涯学習部長、次長兼教育総務課長、学校統廃合担当課長、学校統廃合担当主任
- 5 配布資料
 - ◆ 入間川地区中学校統廃合検討協議会の検討状況について
 - ◆ 統廃合に伴う学区の見直し案
 - ◆ 対照表

——— 主な質疑応答及び意見要望 ———

学区に関すること

- Q ①案や②案はわかるが、目の前に中央中があるのに他の遠い学校に行かせる③案や④案といった案が出てくること自体が理解できない。
- A 東中の生徒を分かれられないようにするといった視点もあり、③案や④案を提示させていただきました。
- Q 平成 23 年度から入間川中学校区内の入間川東小のエリアを中央中も選べるようにした理由は。
- A 入間川東小の子が同じ中学校に進学できるよう配慮したものです。
- Q 私の子は入間川東小で、入間川中か中央中のいずれかを選べるエリアなので、みんなと一緒に中央中に行きたいところだが、統廃合で中 2 や中 3 で学校が変わるのであれば、最初から入間川中に行った方がいいと思っている。どちらの学校にするかは 12 月初め頃までには決めなければならないと思うが、正直なところ、どの案に転ぶかは現時点でも五分五分といった感じなのか。
- A 何とも言えないというのが正直なところです。

Q 仮に平成 27 年に統合して入間川中に行くことになった場合、希望すれば、統合する前の段階で中 1 から入間川中に入ることはできるのか。

A 現時点では何とも言えません。

Q 統合する前の段階で統合先の中学校に通いたいという希望者は多いと思うが、それも可能なのか。

A そういう面もありますので、現時点では何とも言えませんが、可能な限り柔軟に対応できればと考えています。

Q 入間川地区の統廃合ということを考えれば、入間川中が適正規模にならない①・②案は採用されないとも読み取れるが。

A ①・②案では入間川中の適正規模が図れないという面はありますが、最終的には総合的に判断されることになると思います。

Q 人数が多い富士見小が分かれるとと思っていたが、富士見小が分かれずに動くというのが前提なのか。

A それを前提にしているというわけではありませんが、現在示している四つの案は、すべて富士見小が分かれずに動いているのは事実です。

Q なるべく小学校区は分かれたいと教育委員会は言うが、富士見小は分かれたいようにするけど、入間川東小は分かれてもいいということか。

A そういうことではありません。

Q 示されている四つの案をベースに今後の話し合いは進められるのか。

A 基本的にはその方向で考えています。

Q 実際に学区内を歩いたことのない人たちの間で学区を決めるなんておかしいし、通学路の危ない箇所を調べてから決めるべきではないのか。

A 入曽地区では部会の委員で集まって実際に学区内を歩きましたので、入間川地区の部会でも検討されると思います。

Q この学区の見直し案は、どこで決めたのか。

A まずは教育委員会で作成したいくつかの案を検討協議会に提示し、そこで検討された結果を踏まえ、今回の四つの案を学区部会に提示したものです。

Q ③・④案では、特に小規模化が進んでいる狭山台中の適正規模を確保することができないが、それでいいのか。

A 狭山台中の小規模な状態を解消したいという考えは勿論あります。

Q 適正規模にすることが一番の目的ということか。

A 第一の目的は適正規模を確保して教育環境を整えることですが、検討協議の結果として、小規模な状態が解消されない学校が残ってしまうのも致し方ないと考えています。

- ◆ もともと入間川中学校区の菅のあたりに関して言えば、平成 23 年度から中央中も選べるようにしたにもかかわらず、今回の統廃合で入間川中に行かせる案を出してくる教育委員会というのは、何を考えているのかよくわからない。
- ◆ 旭や峰の生徒はどうなるのか。中央中は峰地区にあるのに、その生徒が中央中に行けないなんておかしい。
- ◆ 峰の生徒を入間川中に行かせるなんてとんでもない話だし、なぜこんな案を出したのか、委員に直接話を聴きたいくらいだ。
- ◆ 目の前に中央中があるのに、なぜ何分もかけて危険を伴う遠い学校に通わなければならないのか。
- ◆ 東中がなくなるのに中央中の生徒が分かれてしまうなんて常識的におかしいし、もっと通学距離を考慮した普通の学区割をしてほしい。
- ◆ 中央中の教室が確保できないにもかかわらず、③案や④案が出てくること自体不思議だし、教室数に余裕がなくなれば、授業をする環境も悪くなると思う。
- ◆ 奥富地区の子は、何十年か前にも学校を移されており、人数は少ないかもしれないが、子ども達はナーバスになっていることを忘れないでほしい。
- ◆ 上の子は中央中で下の子は柏原中などということになれば、運動会や制服のお下がりのことなど、親として心配な面は多い。
- ◆ 四つの案すべて富士見小だけが分かれなくなっているのは不思議だし、富士見小を分ける案があってもいいと思う。
- ◆ 東中の耐震性が十分でないのであれば、教室数に余裕のある狭山台中に東中の生徒が丸々避難する案があってもいい。
- ◆ 学区を決める際は通学の安全を第一に考えてほしい。
- ◆ 通学の距離と安全を親としては一番に考えている。
- ◆ もっと通学の距離を考慮した学区案を考えてほしい。
- ◆ 一つの小学校区を分けるのであれば、どの学区も距離に応じて平等に分けてほしい。
- ◆ 仲間づくりの観点から、一つの小学校は皆同じ中学校に行くような形で考えてほしい。
- ◆ 学区は柔軟に対応したいと教育委員会は言うが、結局は、みんなが行きたい学校に行けるようにしてしまうと収拾がつかなくなると考えているはずだ。

- ◆ 適正規模や小学校区、通学の距離など基準となる要素がいくつかある中で、何を一番に優先して学区の見直し案を考えたのかがよくわからない。
- ◆ 結果として小規模校が残ってしまうのも致し方ないでは、適正規模にならなかった学校の立場としては納得しないと思う。
- ◆ 入間川地区の統廃合なのだから、富士見小や西中の区域の子など、ある程度の人数を入間川中に行かせるのが筋だと思う。
- ◆ 友達と離れ離れになるのが嫌なのか、中学校が途中で変わるのが嫌なのか、遠い学校に行くのが嫌なのかなど、当事者である子どもや親が何を優先しているかを把握しない限りは机上の空論でしかない。

統合の時期に関すること

Q いつ市議会に統廃合に関する議案を出して、実際にいつ統合されるのか。

A まだ決まっていません。現在、学区部会で学区の見直しについて検討しており、学区が決まり次第、検討協議会で統合の時期を決める予定です。統合するにあたっては準備期間が必要ですので、実際に統合する一年くらい前には市議会の議決をいただきたいと考えています。

Q 統合の時期は3年後くらいとかならないのか。

A 平成26年の統合は難しい状況ですが、平成27年もしくは平成28年を目途に検討協議会で話し合われることになると思います。

Q 東中が耐震工事をしていない関係で、いつまでに統合しなければならないというのがあるようだが。

A 平成27年度までに学校の耐震化を完了させる方針が国から示されていますので、遅くとも平成28年4月には統合したいと考えています。

Q 統合が延びる場合は、東中の耐震工事をを行うのか。

A 統合の時期が延びる場合や市議会の議決が得られない場合は、東中は耐震工事をを行います。

Q 中学に入ってからでないで、いつ他の学校に移るかわからないということか。

A 統合の時期は、決まり次第お知らせします。

- ◆ 統合の時期を目安に保護者は考えるわけだから、まだ決まっていないでは困る。
- ◆ 親としては、入った学校で子どもを卒業させてあげたいと思っているはずで、そういう確約があるならいいが、いつ学校が変わるかわからないという今日の説明では不安を煽るだけだ。

統廃合検討協議会・部会に関すること

Q 多くの保護者によって集約された意見が出された場合、決定の過程において、それはどの程度の効力をもつのか。

A 集約された意見があれば、部会や検討協議会にお伝えしますし、四つの学区案以外の案が出てきた場合は、あらためて検討していくことになると思います。

- ◆ 統廃合することは賛成だが、検討協議会で統廃合の対象が東中になった経緯や話の進め方などには気になる点もあるので、もっといろいろな人に参加してもらった方がいいと思う。
- ◆ 現状でも各校の生徒数のバランスはそれほど悪いものとは思わないので、検討協議会については、都市工学の専門家などを入れるなどして、もっと時間をかけて検討していくべきだ。
- ◆ 二つの学校が近いから古い方の東中をなくすということではなく、どの学校なら子ども達が通いやすいかということを前提に話し合いを進めてほしい。

その他

Q みんなが反対すれば、東中廃校の話がなくなる可能性もあるのか。

A 最終的には市議会で決めることになります。

Q 子どもは中学に入っても途中で学校が変わるのは嫌だと言っているのに、それでも統廃合することは良いことだと思っているのか。

A 部活など難しい面はあると思いますが、教育環境を整えることは重要なことだと考えています。統合に際しては、十分に準備期間を設けて対応していきたいと考えています。

Q 来年中学に入学する子どものためにも、年内か年明け早々には、せめて一つでも決められるものがあれば決めてほしい。

A 今年度中には学区や統合の時期を決められればと思っています。

Q 統廃合に関することを決定する部門は、どこなのか。

A 統廃合事業を進めているのは教育総務課の学校統廃合担当です。統廃合に関しては、部会及び検討協議会の検討結果を踏まえ、統廃合計画を策定し、教育委員会会議の議決を経たのち、最終的には市議会で決定することになります。

Q 小規模校のままの可能性もある入間川中に対し、何かしらのアナウンスはしないのか。

A 部会には入間川中のPTAの正副会長さんも出席しており、今後は必要に応じて説明会等の開催も検討したいと思います。

- ◆ 耐震工事がされていない東中に子どもを通わせている親は心配だと思うし、大地震が起きても倒壊することはないと市は説明するが、それは誰にもわからないはずだ。
- ◆ 学年の途中で通う学校が変わることへの不安はある。
- ◆ 統合の時期や学区は、中学に入る前の段階で明確にして、そのうえで子どもや親に選ぶ道を決めさせるべきだ。
- ◆ 案を示して保護者から意見を聴くのもいいが、それぞれの方がいろんな思いを抱えているので、説明会を開催するのであれば、ある程度ベースが決まってからの方がいいと思う。